



# くぎかいだより

No. **235**  
 発行/北区議会  
 〒114-8508  
 東京都北区王子本町1丁目15番22号  
 TEL(3908)1111(大代表)



## 議長・副議長 あいさつ

明けましておめでとうございます。区民の皆様には、新たな抱負や様々な思いを胸に、新しい年をお迎えになられたことと存じます。

昨年、東日本大震災とそれに伴う原発事故という我が国がかつて経験したことのない大災害が発生いたしました。被災地の一日も早い復興を祈念するとともに、今年こそは日本が元氣を取り戻し、明るい夢や希望を抱ける年になることを心から願っております。

さて、昨年の選挙におきまして、新体制による区議会が誕生いたしました。震災の影響が国民生活の様々な分野に及ぶ中、北区政においても、地震、水害に強い安全安心なまちづくりをはじめ、一層進展する少子高齢化への対応や景気雇用対策、地球環境保全への取組み等、厳しい財政状況のもと、地域に密着した待ったなしの課題が山積しております。私も区議会は、この

ような時こそ、区民の皆様のご意見・ご要望を区政に確実に反映させていくため、区に対し、より一層の重点的かつ効率的な財政運営を求めるとともに、区民福祉のさらなる向上を目指し、議員一丸となって取り組んでまいりました。

誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくりには、住民相互の支え合いと地域の絆が大きな原動力となります。区議会といたしましては、今年も区と力を合わせ、心が通い合う地域づくりに積極的に取り組んでまいりたいと存じます。そして、区民の視点に立った議会改革を推進し、これまで以上に議会機能の向上と活性化に努めてまいります。

年頭にあたり、区民の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

## 第4回定例会

平成23年度一般会計補正予算(第3号)を可決しました

意見書・決議

介護職員処遇改善交付金の継続を求める意見書 ほか 4件を可決しました

### 今回の写真は

「今年の干支は辰」

区内で活動をしているボランティアグループが作成した、今年の干支「辰」の手芸作品です。

平成23年第4回定例会は、11月24日に招集され、13日間の会期で12月6日に閉会しました。

11月24日、25日の2日間にわたり、11名の議員が財政・福祉・教育・都市問題など当面する区政の課題について代表・個人質問を行いました。

今回、区長から提出された議案等44件、議員から提出された議案5件、請願・陳情7件を議決しました。

## 235号 目次

代表質問	2・3
個人質問	4
議決した議案等	5
請願・陳情の結果	6
委員会トピックス	6
議会の動き	6
各会派新年の抱負	7
北区議会の構成	8
次回定例会案内	8

### 各会派の代表質問

#### 長生きするなら北区が一番の実現 財政の「見える化」と歳出入改革



公明党議員団  
稲垣 浩

**問** 「長生きするなら北区が一番」の理念と目標とは、温かな善意と相互理解による支え合いの社会を築く絆づくりだと思いがいかかか指摘のとおり本人や家族による自助、介護や医療保険サービスの互助、地域の支え合いやお互いの善意や信頼による共助を組合わせ、地域包括ケアを実現することが大切と考えている。

**問** 高齢者の家事援助事業の拡充策として、シルバー人材センター事務局内に地区別の専任担当を設け、区内全域を網羅し、実施すべき。

**答** シルバー人材センターが、自主自立の組織理念に基づいた運営で、課題を解決しながら家事援助サービスの実績をあげられるよう、必要な支援を検討していく。区税の減収や財調交付金



清水坂あじさい荘

**問** 当初算定より下回った場合、基金の目的変更や赤字債の発行等、どのような対策を講じ財政規律を守り続けていくのか、区の財政戦略を具体的に聞か。

**答** 税や交付金の確保には多くの懸念材料が存在する。予測を超える場合は、当面、基金を有効活用し、既存施策の徹底的な見直しで、持続可能な行財政運営のため一層の創意工夫に努める。

**問** 独居高齢者や認知症で判断能力が十分でない人が増加している中、第5次介護保険事業計画は何を重点に策定するのか、併せて特養待機者解消のため、特養整備の見直しについて聞か。

**答** 支援サービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の構築を目指している。特養ホームは平成25年4月旧新町中跡地に開設予定。また、旧自立支援センター北寮跡地は候補地として今年度土壌汚染調査を実施。民間事業者を積極的に誘導し整備を目指す。歯が丈夫であれば認知症や介護予防、医療費抑制に

も効果があると言われる。医師会や介護事業者等との協力を強化し口腔ケアを更に推進しながら、介護施設等への嚥下内視鏡による訪問歯科治療を拡充すべき。

**問** 歯科口腔保健の推進は高齢者の健康維持に重要と認識し歯科医師会と連携して方策を検討していく。訪問歯科治療の拡充については、現在、障害者施設や特養で歯科健診及び口腔ケア指導を実施し従事指導員向け口腔ケア研修も実施している。学校だけでなく、家庭や地域社会が教育の場として十分な機能を発揮することなしに、児童生徒の健やかな成長や青少年の健全な育成はない。今後、児童福祉と教育の一体性や整合性が重要になる。子ども家庭部の教育委員会事務局への組

織改編を真剣に検討すべき。子どもの成長の促進と保護者への支援には、家庭や教育環境はもとより、地域との連携によって培われる環境も重要。今後も学校と地域との絆を更に深め、福祉支援、学校教育の役割を効果的に果たし、強固できめ細かい連携を図っていく。

**問** 都議会でも二〇二〇年夏季五輪招致を決議した。北区も更なる推進策として早く決断し、都に対し産技研跡地へのスポーツ施設の早期建設を積極的に求めるべき。

**答** 東京招致に向け、区議会の意向を十分に踏まえ活動を支援していく。産技研跡地については、都に対し震災時の被災者支援等の拠点機能を併せ持つスポーツ施設の整備を要望した。都と十分な連携を図っていく。

#### 耐えられるまちづくりに向けて 高齢者施策の持続性強化



自由民主党議員団  
池田 博一

**問** 堅実な区政運営のためにも区有施設の統廃合、長寿命化等を図り、社会資本等の更新・再整備投資の圧縮を図るべき。

**答** 施設や資産の有効活用を図るため、施設の長寿命化維持管理コストの低減等を推進し、区民ニーズの変化に対応した安定的な区政運営を展開していく。

**問** 木造民間住宅耐震化促進事業について、倒壊等から起因する様々な損失を食い止めるためにも助成金の大幅な増額を図り、事業の促進を早急に図るべき。

**答** 木造住宅の耐震性の向上を図り、区民の安全をより一層確保するため、助成金の増額と助成対象件数の拡大を検討し、耐震化事業の更なる促進に取組んでいく。助成対象は耐震診断の総



十条駅西口駅前

合評点が一年以上の耐震化だが、一以下でも改修効果は上がる。こまめではという条件を満たしたものは総合評点〇・七でも助成可能との判断に立っていないか。

**答** 耐震補強計画は耐震診断の総合評点を一年以上に計画する必要がある。提案は今後の検討課題とする。

**問** 介護保険制度はまだまだ整備途上にあると思うが、介護保険者として10年間の事業推進を振り返り、どのような総括をしているか。

**答** 高齢期の暮らしを支える仕組みとして着実に定着しつつあると考える。一方、高齢化が進展していく中で介護費用の増大等様々な課題があると認識している。

**問** 第5期介護保険料算定にあたり、将来建設予定の施設の増設等に伴う給付増も見据え、保険料を決定せざるを得ないと思うが見解は。

**答** 介護給付費準備基金の一部取り崩し等、今取り得る様々な手段を講じ、保険料の基準額軽減に努めていく。今後、低所得の独居老人が増え続けることも想定さ

れる。住宅・福祉の両面で何らかの対策を講ずるべき。

**問** 今年度から「高齢者住み替え支援事業」を実施し、区内民間賃貸住宅へ住み替えた高齢者や立ち退きを受けた人に助成を行っている。

**問** 休日調剤薬局の運営は薬剤師に委託しているが、人件費については実態と異なる費用が支給されないか聞いている。その状況と改善策を聞か。

**答** 委託料の引上げ、見直しについては、他区における休日薬局の開設状況を見据えながら、今後も適切な委託料を検討していく。

**問** 二〇二〇年オリンピック、パリンピックの東京招致に向け、区として理解と協力を惜しまない姿勢を示すことが重要。区長の見解は。

**答** 区議会の意向を十分踏ま

えながら、東京全体の発展に繋がるような招致に向けた活動を支援していく。

**問** 放射線被害の報道が溢れ、ストレスによる健康への影響も言われている。放射線に関する迅速・的確な情報提供のため、専門家による講演会実施等を検討すべき。

**答** 放射線の影響に対する判断は専門家の間でも分かれているため講師の選定等の課題がある。どのような方策が適切か、検討していく。

**問** 十条再開発は民間主体の再開発だが、区は最大の推進者であるとの意識のもと、積極的に対応してほしい。

**答** 市街地再開発事業が十条地区のまちづくり促進に繋がると考える。区としては、事業が地元の理解を得られるよう強い意志で準備組合を支援していく。

## 各会派の代表質問



### 医療と介護の連携で安心の老後を 放射能から子どもたちを守ろう

民主あすか区民クラブ  
佐藤 ありつね

**問** 江東区に移転した産技研が果たしてきた機能を考慮し、区内中小企業の技術振興を今後も強めていくべき区内で関連する諸機関の協力も得ながら力を入れるよう求める。

**答** 今後の継続した支援に向けて、産技研との間で既に業務連携に関する覚書を締結した。新たに「ものづくりトータルサポート事業」で東洋大学との連携を図る等、引続き中小企業の技術力向上を支援していく。

**問** 昨年度から取組んだ若者就労支援の実績評価と今後の施策の推進について問う。

**答** 昨年度の就職達成率は約7割。今年度も、同様の成果を目指している。今後も都の補助金を活用しつつ積極的に取組んでいく。

**問** 大震災の教訓と税収確保



若者向けの就職支援セミナー

**問** や経済波及効果の観点から、区職員の区内在住率の拡大は真剣に取組むべき課題と考えるがいかがか。

**答** 若手職員のための住宅確保という視点や防災要員として、職員の定住化対策について検討していく必要があるかと考えている。

**問** 給食の安全対策について、食材の測定を強く求めてきたがいまだ実施されていない。内部被ばくから子どもたちを守るために、どのような安全策を取るのか。

**答** 食品については産地における検査のほか、都による流通食品の検査も開始されており、安全性は確保されているものと考えている。現在、国が食品の放射性物質の規制値を更に厳しくする検討を進めており動向を見守る。

**問** ヒートアイランドによる水害発生の被害は繰返される。周辺自治体に呼び掛け対策に取組むべき。これまでの対策と今後の決意は。

**答** ヒートアイランドを緩和させるため、既存の緑の保護、公園や街路、屋上の緑

**問** 介護の相談窓口となつている直営地域包括支援センターの業務委託は行わないこと。

**答** サービス充実のため平成25年度に滝野川地域包括支援センターを委託し、王子地域包括支援センターが支援する体制を強化していく。URを「政府全額出資の特殊会社」とする行政刷新会議の方針に反対し、公共住宅として存続させることを国とURに働きかけよ。

**問** 今後の閣議決定等、具体化に向けた国の動向について注視していく。

**答** 開設中の豊島避難所については、居住する被災者の要望を最優先に、原発被災の今後の動向を注視しながら、その後のあり方については、あらためて自治会・町会・スポーツ利用者、障

**問** 区内在住の障害者の高齢化が進行している。障害状態に見合った居場所や入所先、知的障害者の特養ホーム等が必要。区の取組み、進捗状況を問う。

**答** 現在、「長生きするならば」北区が一番「専門研究会で地域包括支援センターを中心とした介護と医療の連携の仕組みづくりや、事例検討のための協議会の設置等を検討している。

**問** 在宅ケアの体制を築くことは今後大きな課題。定期巡回・随時対応型訪問介護看護と、複合型サービスが新規事業化されるが、区としてこれらの事業をどう捉え推進していくのか。

**答** 「地域包括ケアシステム」の中心的なサービスと位置付けられる。どちらもまず、一事業所の整備を計画化する予定。

**問** 区内在住の障害者の高齢化が進行している。障害状態に見合った居場所や入所先、知的障害者の特養ホーム等が必要。区の取組み、進捗状況を問う。

**答** 北区基本計画二〇一〇と北区障害者計画において、居住系サービスの充実を掲げ、障害者ケアホームの整備誘導に努めている。

**問** 国立印刷局東京病院は滝野川地区になくはならない病院。あらゆる関係機関と連携を強め、病院存続のため断固たるリーダーシップの発揮を求める。

**答** 印刷局東京病院は北区にはなくてはならない存在と考える。今後情報収集に努め、区議会や医師会とも相談し、医療機能存続に向けて全力を挙げて取組む。



### 原発からの撤退、給食食材検査を 豊五団地の高齢化、防災対策を

日本共産党北区議員団  
福島 宏紀

**問** 区長は、原発からの撤退を表明すること。

**答** 国は、国民が安心できる中長期的なエネルギー構成のあり方について、国民的議論を踏まえて対応するとしている。今後とも、動向を十分に注視しつつ、必要な時には、国や都に対し、全国市長会や特別区長会を通じて対応していく。

**問** 民間住宅、中小・零細企業等に対し、自然エネルギー普及のため、設備の導入保守点検、情報提供等の支援策を強化・拡充すること。

**答** 民間住宅や中小企業への自然エネルギー普及のための施策については、今後も積極的に推進していく。

**問** 区が実施した放射線量測定費用や除染費用については、国と東京電力が責任を持つよう求めるべき。



豊島五丁目団地

**問** 今後何らかの形で補償・補填がなされるべきものと考えられる。当面は、国や都、周辺自治体の動向等を注視していきたい。

**問** 給食の放射線量測定については、食品の測定機器の購入、業者への検査委託等、

**答** 食品については国や都の検査が行われ、牛乳についても原乳の出荷時点での検査により暫定規制値を超える放射性物質が検出されなかった原乳は出荷されない取組みが行われ、安全性は確保されているものと考えている。

**問** 国保年金課に留め置かれている短期保険証について、特に子ども医療費、障害者医療、難病等の公的助成対象者等には直ちに交付すべき。今後の取組みは。

**答** 納付相談を目的に、窓口での交付案内を2回にわたりに送付するとともに、休日納付相談を行った。今後、納付相談の案内を継続し、早期交付に努めていく。

**問** サービス充実のため平成25年度に滝野川地域包括支援センターを委託し、王子地域包括支援センターが支援する体制を強化していく。URを「政府全額出資の特殊会社」とする行政刷新会議の方針に反対し、公共住宅として存続させることを国とURに働きかけよ。

**問** 今後の閣議決定等、具体化に向けた国の動向について注視していく。

**答** 開設中の豊島避難所については、居住する被災者の要望を最優先に、原発被災の今後の動向を注視しながら、その後のあり方については、あらためて自治会・町会・スポーツ利用者、障

**問** 介護の相談窓口となつている直営地域包括支援センターの業務委託は行わないこと。

**答** サービス充実のため平成25年度に滝野川地域包括支援センターを委託し、王子地域包括支援センターが支援する体制を強化していく。URを「政府全額出資の特殊会社」とする行政刷新会議の方針に反対し、公共住宅として存続させることを国とURに働きかけよ。

**問** 今後の閣議決定等、具体化に向けた国の動向について注視していく。

**答** 開設中の豊島避難所については、居住する被災者の要望を最優先に、原発被災の今後の動向を注視しながら、その後のあり方については、あらためて自治会・町会・スポーツ利用者、障

**問** 区内在住の障害者の高齢化が進行している。障害状態に見合った居場所や入所先、知的障害者の特養ホーム等が必要。区の取組み、進捗状況を問う。

**答** 現在、「長生きするならば」北区が一番「専門研究会で地域包括支援センターを中心とした介護と医療の連携の仕組みづくりや、事例検討のための協議会の設置等を検討している。

**問** 在宅ケアの体制を築くことは今後大きな課題。定期巡回・随時対応型訪問介護看護と、複合型サービスが新規事業化されるが、区としてこれらの事業をどう捉え推進していくのか。

**答** 「地域包括ケアシステム」の中心的なサービスと位置付けられる。どちらもまず、一事業所の整備を計画化する予定。

**問** 区内在住の障害者の高齢化が進行している。障害状態に見合った居場所や入所先、知的障害者の特養ホーム等が必要。区の取組み、進捗状況を問う。

**答** 北区基本計画二〇一〇と北区障害者計画において、居住系サービスの充実を掲げ、障害者ケアホームの整備誘導に努めている。

**問** 国立印刷局東京病院は滝野川地区になくはならない病院。あらゆる関係機関と連携を強め、病院存続のため断固たるリーダーシップの発揮を求める。

**答** 印刷局東京病院は北区にはなくてはならない存在と考える。今後情報収集に努め、区議会や医師会とも相談し、医療機能存続に向けて全力を挙げて取組む。

# 個人質問

**昭利町・堀船の諸問題を問う**  
 王子駅周辺の諸問題を問う  
 自由民主党 議員団

**問** 昭利町、堀船地区の区民は木造住宅密集地整備事業の早期実施を切望している。密集事業地域指定に向けた前向きな答弁を求める。

**答** 工場や住宅の建替え時期を捉えながら道路や公園の基盤整備を行う等、地域特性に応じたまちづくりを様々な観点から検討していく。

**問** 石神井川の二度の水害は、雨水の下水処理能力不足と護岸溢水による複合水害である。北区の対策について明確な方針を。また、臭気対策の進捗状況と今後の取り組みについて問う。

**答** 貯留槽の設置費補助で雨水の一次的貯留を進め、緊急対策工事で護岸の嵩上げを実施。国、都に対し引き続き調節池の整備等抜本的対策を求めていく。臭気対策は実験、調査結果をまとめ都と連携し取組んでいく。

**問** 栄町、堀船の人々の重要な乗降口である王子駅南口の改札時間延長、階段の一部スロープ化、エスカレーター化についてJRRと協議を重ねるべき。区の見解は。

**答** 南口駅前広場の利用状況を見極め改札営業時間の延長を強くJRRに要請し、スロープ化、エスカレーター化も強い要望として伝える。

## 滝野川地区の交通対策

高齢者対策・教育対策  
 自由民主党 議員団

**問** 前田 ゆきお  
 議員団  
 高齢者や障害者が利用しやすい板橋駅舎と、歩道上

への駐輪で歩きづらい駅前再整備に対する区の見解、JRへの要望時期を問う。

**答** JRへの要望時期を問う。駅舎盛土部を高架橋に改良し高架下通路からホームへアクセスする。JRの基本設計案がまとまり次第必要な要望をする。駅前広場は駅施設と整合を図り整備する。

**問** 全ての世代に高齢者の永年の経験より得た知恵と知識を授けて頂きたい。区として高齢者対策を更にどのように進めていくか。

**答** 高齢者の豊富な経験や知識を生かす他の年代との交流等は極めて重要と認識。積極的に情報提供するワンストップ型元気高齢者支援窓口について検討していく。

**問** 滝野川五丁目に移転してくる現在改修中の日仏学園リセ・フランコ・ジャポネ・ド・東京について地域から期待と不安の声があがっている。近隣商業地区への経済効果も含めその影響は。

**答** 最近、地元商店街から24年の開校を楽しみにしている話を聞く。がんばる商店街支援事業での支援が可能なフランス色を取入れたイベント開催等も考えられる。

**問** 発達障がい児の児童生徒達への指導・支援体制に関し、通常の学級におけるICT機器活用との合理的配慮について区の見解を問う。

**答** 発達障がいのある児童・生徒への支援・指導のあり方を盛り込んだ計画を策定するため、年度内に中間報告

## 発達障がい者への教育の取組

安心安全な街「北区」を構築  
 公明党議員団

**問** 小田切 和信  
 公明党議員団  
 発達障がい児の児童生徒達への指導・支援体制に関し、通常の学級におけるICT機器活用との合理的配慮について区の見解を問う。

**答** 発達障がいのある児童・生徒への支援・指導のあり方を盛り込んだ計画を策定するため、年度内に中間報告

をまとめる予定。その中でICT機器活用を検討する。災害時には正確で確実な情報伝達、平時には視覚障がい者等への広報の媒体として「緊急告知ラジオ」が有用。「緊急告知ラジオ」を活用した情報提供をすべきと考えるが見解を問う。

**問** 志茂地域において、地域づくり応援団事業の補助金を活用したFM波放送実験が行われた。今後も地域の動きに注視していく。

**問** 北区共通商品券の具体的な利用者・事業者の評価、経済効果は。区内経済の活性化や商業振興のため、来年度は増額発行し、四半期に1億円程度の規模で発売すべきだが区の見解は。

**答** 利用者・事業者の双方から喜ばれている、一定の経済効果がある事業と認識している。来年度の増額発行については財政状況を勘案しつつ検討していく。

**問** 自殺者対策として、認知行動療法を、小中学校へメンタルヘルスの予防的介入という位置付けで取入れてはどうか。

**答** 認知行動療法はストレス軽減に有効と認識。現在でも児童・生徒の指導に生かしており、各学校で広く活用が図れるよう努めていく。

**問** 成年後見制度について、低所得者の申立て費用や後見人等への報酬補助は、本人申立て、家族申立て等も対象とすべき。

## 誰もが安心して住める北区に

豊島氏と吉宗を観光振興策に  
 公明党議員団

**問** 坂口 勝也  
 公明党議員団  
 自殺者対策として、認知行動療法を、小中学校へメンタルヘルスの予防的介入という位置付けで取入れてはどうか。

**答** 認知行動療法はストレス軽減に有効と認識。現在でも児童・生徒の指導に生かしており、各学校で広く活用が図れるよう努めていく。

割を持つており利用を促進すべきと考える。今後、他区の制度を参考に、対象の拡大も含め検討していく。

**問** 障害者自立支援法に基づき、補助対象の拡大について、他区の状況も勘案し、検討課題とする。

**問** 豊島氏と徳川吉宗を観光振興の一つとして事業展開を考えてはどうか。

**答** 観光ガイドマップ、観光ビデオ等で豊島氏や吉宗を紹介しPRに努めている。今後も、重要な観光情報として広く発信していく。

**問** 日本共産党 北区議員団 さがらとしこ  
 赤羽台団地建替え事業計画の中に高齢者施設整備用地が確保されたが、区の積極的なインシニアチブで高齢福祉施設等を推進すること。

**答** 都市再生機構がつくる計画を踏まえ、全高齢者実態把握調査結果等を勘案し、必要な協議・調整を行う。

**問** 緊急通報システムと、医療情報や診察券、保険証等の写しを入れた「医療情報キット」を一緒に普及するための具体的な検討を求めたい。

## 高齢者にやさしいまちづくり

新設区立保育園は区立直営で  
 日本共産党 北区議員団

**問** 日本共産党 北区議員団 さがらとしこ  
 赤羽台団地建替え事業計画の中に高齢者施設整備用地が確保されたが、区の積極的なインシニアチブで高齢福祉施設等を推進すること。

**答** 都市再生機構がつくる計画を踏まえ、全高齢者実態把握調査結果等を勘案し、必要な協議・調整を行う。

国の適切な基準設定と安否対策については、高齢者が安心して生活できるよう都が国に要望している。

**問** 「仮称西ヶ原外大跡地保育園」をはじめ今後新設される区立保育園は区立直営による運営を求めたい。

**答** 新設保育園は、多様な保育サービスへの柔軟な対応と効果的な財政運営の観点から、指定管理者による運営が適当と判断している。

**問** 北区的防災対策拡充について、災害に備えるまちづくりを日本共産党 北区議員団 永井 朋子  
 木造民間住宅耐震改修促進事業について、助成の限度額を増額し一層の耐震化を進めるべき。

**答** 区民の安全をより一層確保するため、助成金の増額と助成対象件数の拡大を検討し、耐震化事業の更なる促進に取組んでいく。

**問** 家具転倒防止促進事業について、来年度以降も常時受付すること、高層住宅へも拡充することを求める。

**答** 受付を常時行うことは今後検討していく。高層住宅における家具転倒防止器具の設置については今後、啓発促進に努めていく。

## 北区的防災対策拡充について

新設区立保育園は区立直営で  
 日本共産党 北区議員団

**問** 日本共産党 北区議員団 永井 朋子  
 木造民間住宅耐震改修促進事業について、助成の限度額を増額し一層の耐震化を進めるべき。

**答** 区民の安全をより一層確保するため、助成金の増額と助成対象件数の拡大を検討し、耐震化事業の更なる促進に取組んでいく。

時に一時的に避難できる場所を指定し明確化すること。

**問** 現在、国や都において進められている被害想定改訂作業の検討結果を勘案しつつ、対策を検討していく。

**問** 赤羽地区の諸問題について  
 赤羽地区の諸問題について  
 日本共産党 北区議員団

**問** 飛鳥山博物館と紙の博物館、積極的に行い、情報を発信し、企画展等を定期的に開催する等、沢沢栄一の業績と精神を区民に宣伝すべき。

**答** 今後、より一層、他館との連携の強化を進める中で、提案の企画展の開催等について協議・研究していく。

**問** 小中学校で、沢沢の志に深く触れるカリキュラムの新設等教育関係者とともに勉強することを提案する。

**答** 教員の意識を高め、沢沢栄一の功績やその志が児童・生徒に浸透するようにするとともに、史料館等の活用の推進に努めていく。

## 沢沢栄一の志を発信せよ

赤羽地区の諸問題について  
 日本共産党 北区議員団

**問** 赤羽地区の諸問題について  
 赤羽地区の諸問題について  
 日本共産党 北区議員団

**答** 今後、より一層、他館との連携の強化を進める中で、提案の企画展の開催等について協議・研究していく。

## 議決した議案等

会派名と議員数 自：自由民主党議員団 (14) 公：公明党議員団 (10) 共：日本共産党北区議員団 (9) 民：民主あすか区民クラブ (6)  
 み：みんなの党議員団 (3) 社：新社会党議員団 (1)

議案名		概要	自	公	共	民	み	社	議決結果	
条例	東京都北区応援サポーター基金条例	東京都北区特別区税条例第20条に定める寄附金(ふるさと寄附金)を活用した東京都北区応援サポーター基金を設置する	○	○	○	○	○	○	○	可決
	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	災害弔慰金の支給対象となる遺族の範囲に、一定の要件を満たす兄弟姉妹が加えられたことから、関係規定の整備をする	○	○	○	○	○	○	○	可決
	東京都北区立ふれあい館条例の一部を改正する条例	使用者が区民以外である場合のふれあい館使用料を規定する	○	○	○	○	○	○	○	可決
	東京都北区立健康増進センター条例の一部を改正する条例	高齢者に係る東京都北区立健康増進センター使用料を規定する	○	○	○	○	○	○	○	可決
	東京都北区立公園条例の一部を改正する条例	有料公園施設の使用料の改定を行う	○	○	○	○	○	○	○	可決
	東京都北区自転車の放置防止に関する条例の一部を改正する条例	放置自転車の移送費用の改定を行う	○	○	×	○	○	○	○	可決
	東京都北区飛鳥山博物館条例の一部を改正する条例	高齢者に係る飛鳥山博物館観覧料を規定する	○	○	○	○	○	○	○	可決
	一般財団法人北区勤労者サービスセンターに対する助成に関する条例の一部を改正する条例	合併により「一般財団法人北区勤労者サービスセンター」が「一般財団法人東京城北勤労者サービスセンター」となることに伴う関係規定の整備をする	○	○	○	○	○	○	○	可決
	東京都北区北とびあ条例の一部を改正する条例	東京都北区北とびあの管理に指定管理者制度を導入する	○	○	×	○	○	○	○	可決
	東京都北区特別区税条例等の一部を改正する条例	区民税における寄附金税額控除の適用下限額の引下げ並びに上場株式等の配当所得及び譲渡所得等に係る軽減税率の特例の適用期限の延長等を行う	○	○	×	○	○	○	×	可決
	東京都北区立福祉作業所条例の一部を改正する条例	障害者自立支援法附則第58条による経過措置の終了に伴い、設置根拠に係る規定等の整備を行う	○	○	○	○	○	○	○	可決
	東京都北区立福祉園条例の一部を改正する条例	障害者自立支援法附則第58条による経過措置の終了に伴い、設置根拠に係る規定等の整備を行う	○	○	○	○	○	○	○	可決
	東京都北区自転車等駐車場条例の一部を改正する条例	東十条駅南口自転車駐車場を新設する	○	○	○	○	○	○	○	可決
	東京都北区立学校設置条例の一部を改正する条例	東京都北区立十条富士見中学校の位置を変更する	○	○	○	○	○	○	○	可決
	東京都北区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	学校医等の公務災害補償に係る介護補償額及び補償基礎額の改定を行う	○	○	○	○	○	○	○	可決
	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	職員の給料表の改定を行う	○	○	○	○	○	×	○	可決
	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	幼稚園教育職員の給料表の改定を行う	○	○	○	○	○	×	○	可決
	十条富士見中学校新築に伴う既製什器備品等の購入契約	契約相手：株式会社ノエス 契約金額：8,885万1,000円	○	○	○	○	○	○	○	可決
	土地の取得について	北区立十条富士見中学校用地として	○	○	○	○	○	○	○	可決
	その他	東京都北区立志茂東ふれあい館の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：志茂東ふれあい館自主管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○
東京都北区ネスト赤羽の指定管理者の指定について		指定管理者の名称：特定非営利活動法人コミュニティビジネスサポートセンター	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区滝野川会館の指定管理者の指定について		指定管理者の名称：A & Nグループ	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立上中里コミュニティ会館の指定管理者の指定について		指定管理者の名称：上中里コミュニティ会館自主管理委員会	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立赤羽ふれあい館の指定管理者の指定について		指定管理者の名称：赤羽ふれあい館自主管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立桐ヶ丘ふれあい館の指定管理者の指定について		指定管理者の名称：桐ヶ丘ふれあい館自主管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立島下ふれあい館の指定管理者の指定について		指定管理者の名称：島下ふれあい館自主管理委員会	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立稲付ふれあい館の指定管理者の指定について		指定管理者の名称：稲付ふれあい館自主管理運営会	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立西が丘ふれあい館の指定管理者の指定について		指定管理者の名称：西が丘ふれあい館自主管理委員会	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立堀船ふれあい館の指定管理者の指定について		指定管理者の名称：堀船ふれあい館自主管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区NPO・ボランティアがらぎの指定管理者の指定について		指定管理者の名称：特定非営利活動法人東京都北区市民活動推進機構	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区富士見橋工コー広場館等の指定管理者の指定について		指定管理者の名称：特定非営利活動法人北区リサイクラー活動機構	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立王子授産場等の指定管理者の指定について		指定管理者の名称：公益社団法人北区シルバー人材センター	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区滝野川老人いこいの家等の指定管理者の指定について		指定管理者の名称：社会福祉法人北区社会福祉事業団	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立浮間ハイマートの指定管理者の指定について		指定管理者の名称：社会福祉法人東京都福祉事業協会	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立滝野川東デイホーム等の指定管理者の指定について		指定管理者の名称：社会福祉法人北区社会福祉協議会	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立若葉福祉園の指定管理者の指定について		指定管理者の名称：社会福祉法人東京都知的障害者育成会	○	○	○	○	○	○	○	可決
浮間四丁目自転車駐車場等の指定管理者の指定について		指定管理者の名称：公益社団法人北区シルバー人材センター	○	○	○	○	○	○	○	可決
新田端大橋北自転車駐車場等の指定管理者の指定について		指定管理者の名称：株式会社ソーリン	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立十条小学校温水プール等の指定管理者の指定について		指定管理者の名称：株式会社サンアメニティ	○	○	○	○	○	○	○	可決
オリンピック東京大会記念東京都北区桐ヶ丘体育館等の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：(株)山武・(株)ビーウォッシュグループ	○	○	○	○	○	○	○	可決	
予算	平成23年度東京都北区一般会計補正予算(第3号)	1億4,060万9,000円の減	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	東京都北区教育委員会委員任命の同意について	加藤和宣氏	○	○	○	○	○	○	○	同意
	東京都北区教育委員会委員任命の同意について	榎垣昌子氏	○	○	○	○	○	○	○	同意
	東京都北区監査委員選任の同意について	石井稔氏	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案	介護職員処遇改善交付金の継続を求める意見書	提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣	○	○	○	○	○	○	○	可決
	帰宅困難者対策の拡充を求める意見書	提出先：内閣総理大臣、国土交通大臣、内閣府防災担当大臣、東京都知事	○	○	○	○	○	○	○	可決
	児童虐待防止の体制強化を求める意見書	提出先：内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、国家公安委員会委員長、東京都知事	○	○	○	○	○	○	○	可決
	防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書	提出先：内閣総理大臣、総務大臣、内閣府男女共同参画担当大臣、内閣府防災担当大臣	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第32回オリンピック競技大会並びに第16回パラリンピック競技大会の東京招致に関する決議	東京でのオリンピック及びパラリンピックの開催を通じ、東京の発展とともに日本の復興を世界に示せるよう期待する	○	○	×	○	○	×	○	可決
議案名	概要	自	公	共	民	み	社	議決結果		

※採決時は、議長(自由民主党議員団)を除きます。

○：賛成 ×：反対 ▲：棄権退場

### 結果の出た 請願・陳情

今定例会では8件の陳情が提出され、7件の陳情が議決されました。

#### 採択されたもの

○介護職員処遇改善交付金の継続を求める意見書提出に関する件 陳23・37  
▽意見書については趣旨に沿うこと

▽は、採択された陳情に付された意見

#### 不採択となったもの

○放射性物質汚染から子どもたちの安全な生活の保障を求める件(第6項) 陳23・10  
○防災施設併設公園及びコミュニティセンター設置に関する件 陳23・35  
○防災施設併設公園及びコミュニティセンター設置に関する件 陳23・36  
○放射能汚染からいのちを守り、核・原発に依存しない北区をつくることを求める件(第1、3、4項) 陳23・40  
○放射線被曝から子供を守ることを求める件(第1、3項) 陳23・43  
○子どもを放射線被ばくから守ることを求める件(第1、2、3、6、9、12、13、14、15、19、20、21、22、23項) 陳23・44  
※理由は願意に沿い難いため

◎なお、その他の陳情は継続審査となりました。

### 委員会の 特徴的な活動 をお知らせします。

#### 健康福祉委員会

10月25日、26日  
○管外視察を行いました。  
愛知県豊橋市では、子どもを

中心に多世代が関わる施設について、こども未来館長から説明を聴取し、館内を視察しました。愛知県津島市では、介護ボランティア制度について、健康福祉部高齢介護課職員ほかから説明を聴取しました。



こども未来館こここを視察

#### 建設委員会

10月25日、26日  
○管外視察を行いました。  
静岡県浜松市では、がけ地対策(浜松市開発許可指導基準)について、都市整備部土地政策課長ほかから説明を聴取しました。大阪府大阪市では、宗右衛門町地区地区計画について、計画調整局計画部都市計画課長ほかから説明を聴取しました。



大阪市役所で説明を聴取

#### 区民生活委員会

10月27日、28日  
○管外視察を行いました。  
長野県長野市では、地球温暖化対策の取り組みについて、環境部長ほかから説明を聴取しました。山梨県都留市では、自然エネルギーについて、政策形成課政

策担当主事ほかから説明を聴取し、小水力発電所を視察しました。



小水力発電所を視察

#### 防災対策特別委員会

11月14日  
○勉強会を行いました。  
見えない恐怖！放射線内部被曝から子ども達をどう守るかという題で、岐阜環境医学研究所長から講義を受け、理解を深めました。

#### 地域開発特別委員会

12月5日  
○説明会を行いました。  
十条駅西口地区市街地再開発事業再開発基本計画の住民説明について、十条駅西口地区市街地再開発準備組合副理事長ほかから説明を聴取しました。

### 議会の動き

#### 10月

27日 区議会だより編集委員会  
・くぎかいだより第234号について  
27日 区民生活委員会管外視察  
・長野市、都留市

#### 11月

14日 防災対策特別委員会  
・勉強会  
見えない恐怖！放射線内部被曝から子ども達をどう守るか  
・委員会  
勉強会のまとめ

15日 議会運営委員会  
・議員の辞職についてほか

17日 全員協議会  
・議案の説明及び質疑

24日 本会議  
・代表質問ほか

25日 議会運営委員会  
・追加予定議案の取り扱いについて

29日 本会議  
・個人質問、議案の付託ほか

29日 区民生活委員会  
・議案審査

29日 建設委員会  
・議案審査

29日 地域開発特別委員会  
・議案審査  
浮間四丁目自転車駐車場等の指定管理者の指定についてほか  
・所管事務調査  
東京都北区立公園条例の一部を改正する条例ほか

30日 健康福祉委員会  
・議案審査  
東京都北区立王子授産場等の指定管理者の指定についてほか  
・所管事務調査  
東京都北区立健康増進センター条例の一部を改正する条例ほか  
・請願・陳情審査  
介護職員処遇改善交付金の継続を求める意見書提出に関する件ほか

1日 企画総務委員会  
・議案審査  
学校温水プール等の指定管理者の指定についてほか  
・所管事務調査  
東京都北区飛鳥山博物館条例の一部を改正する条例ほか  
・請願・陳情審査  
浮間水再生センター施設上部の整備に関する件

1日 企画総務委員会  
・議案審査  
東京都北区応援サポートー基金条例ほか  
・プロックプラン  
仮称西ヶ原外大跡地保育園新築計画図(プロックプラン)について  
・請願・陳情審査  
放射能汚染からいのちを守り、核・原発に依存しない北区をつくることを求める件

2日 防災対策特別委員会  
・請願・陳情審査  
放射能汚染からいのちを守り、核・原発に依存しない北区をつくることを求める件ほか

5日 議会運営委員会  
・本会議の運営について

6日 全員協議会  
・議案の説明及び質疑  
本会議  
議案の議決ほか  
文教委員会(本会議休職中)  
・所管事務調査  
幼稚園教育職員給与に関する条例の一部を改正する条例

12月 1日 企画総務委員会  
・議案審査  
東京都北区応援サポートー基金条例ほか  
・プロックプラン  
仮称西ヶ原外大跡地保育園新築計画図(プロックプラン)について  
・請願・陳情審査  
放射能汚染からいのちを守り、核・原発に依存しない北区をつくることを求める件ほか

2日 防災対策特別委員会  
・請願・陳情審査  
放射能汚染からいのちを守り、核・原発に依存しない北区をつくることを求める件ほか

5日 議会運営委員会  
・本会議の運営について

6日 全員協議会  
・議案の説明及び質疑  
本会議  
議案の議決ほか  
文教委員会(本会議休職中)  
・所管事務調査  
幼稚園教育職員給与に関する条例の一部を改正する条例

13日 企画総務委員会(本会議休職中)  
・議案審査  
職員給与に関する条例の一部を改正する条例ほか  
議会運営委員会(本会議休職中)  
・本会議の運営について  
議会運営委員会  
・第一回定例会についてほか

13日 地域開発特別委員会  
・視察  
J・R埼京線十条地区踏切箇所  
・委員会  
視察のまとめ

### 政治倫理審査会を 開会しました

11月11日に北区議会政治倫理審査会第7期、任期2年を開会し、正副会長の互選等を行いました。会長には、早稲田大学大学院法務研究科教授の戸波江二氏、副会長には弁護士白井典子氏を選出しました。  
政治倫理審査会委員(敬称略)  
(区議会議員)  
榎本はじめ、小野田紀美、稲垣浩、近藤光則、本田正則、八百川孝、安田勝彦、いぬい宗和(公募区民)  
遠藤直美、高木彰、森下徹(識見者)  
戸波江二、白井典子

### 代表質問 用語解説

3ページ  
※複合型サービス  
小規模多機能住宅介護と訪問看護を一体的に提供するサービス

# 各党派 新年の抱負

## 自由民主党議員団

新たな年を迎え区民の皆様方には今年こそより良い年になります様、心よりご祈念申し上げます。

昨年は予想だにしておりません東日本大震災が発生して改めて北区の防災の在り方を見直す事を私達に警告され、私達自民党はいち早く区側に北区防災計画の見直しを提案致し、区民の皆様様の「安心・安全」の確保を守る計画変更の見直しを指示いたしました。国の政策も安定しない状況で国内経済も不安定な現状で区政の根幹である税収も伸び悩みがあり、地方自治体である私達でも行政改革を推し進め健全財政を目指していく中国は議論もせず税制改革を提案して国民生活に不安を与えている状況ですが、私達北区自民党は、地方公共団体の本来の役割である区民一人ひとりの福祉の向上、生活の利便性、環境対策、教育環境の整備、幼児教育の環境整備、町会自治会との協働、地域医療の確保、それぞれの地域に適した町づくり、区内商工業の活性化支援等、今年は積極的に提案・推進をしてまいります。自民党は14人の議員が区内各所で皆様の声を大切に活動しており「今を大切にそして未来につながる北区づくり」を目標にこれからも区側に積極的に施策の提案を致し、区民の皆様が安心して暮らせるよう全力で今年も頑張ります。今年も昨年同様宜しくお願い申し上げます。

幹事長 山崎 満

## 公明党議員団

新年を迎え区民の皆様、被災地の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。昨年は3・11東日本大震災が発生し、福島第一原子力発電所にも甚大な被害をもたらした。放射性物質の拡散や計画停電がありました。さらにヨーロッパの金融不安・歴史的な円高等、まさしく「国難」ともいえる状況となりました。民主党は1年おきに首相が交代し、政府の政策決定の舵取りは迷走をつづけ、TPPの参加や消費税導入をめぐる国の大きな方向性に対しても、国民の理解や同意もなく諸外国との約束を取り交わすなど、国民不在の政治と言わざるをえません。

公明党は国政・都政・区政のネットワークをフルに活用して、区民の皆様の声を実効に受け止め課題解決に一生懸命奔走しております。特に景気対策や雇用の確保、さらに少子高齢化など区民の生活に直結する課題については、きめ細かくスピーディに対応することが求められます。公明党議員団は50を超える団体や地域とのヒアリングを行い、平成24年度の予算要望書として北区に提出し、今後その実現に邁進してまいります。

幹事長 上川 晃

## 日本共産党北区議員団

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。昨年は、東日本大震災と福島第一原発の事故により、国民の命と暮らし、地域経済や環境が計り知れない打撃を受けました。今年も引き続き、復興支援や災害に強いまちづくり、「原発ゼロ」と自然エネルギーの促進、放射線から子どもと区民を守るとりくみを全力ですすめる決意です。

北区は、「財政が厳しい」といって区民にはがまんを強いていますが、官製ワーキングプアと区民サービスマン低下をまねく外部化路線は「北区経営改革」路線は、転換が必要です。この間、北区では毎年数十億円単位で基金が積上がり、主要5基金の残高は約450億円（2010年度末）と過去最高水準に達しています。日本共産党北区議員団は、これらの財源も活用し、◇国保・後期高齢者医療や介護保険の保険料引き下げ◇保育園待機児ゼロ◇特別養護老人ホーム増設など高齢者施策の充実◇住宅リフォーム助成の継続◇耐震改修助成の引き上げと拡充◇産業振興と雇用創出◇教育費の負担軽減など、区民の切実な要求の実現をめざします。

幹事長 八巻 直人

## 民主あすか区民クラブ

本年が区民の皆様にとりまして幸多い年になりますようお祈り致します。昨年は東日本大震災という未曾有の災害が発生し、深い悲しみの年でありました。被災者の皆様に改めてお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興に向け支援と連帯を強めてまいります。

私たちは区議選後「力を合わせ区政改革を」と民主区民クラブとあすか新生議員団が合流し新しい会派を結成しました。「民主」「あすか」「社民」の三本の矢がしっかりと団結し、よりよき北区政の推進役を担っていく決意です。第一には、昨年の大震災を踏まえ、災害に強い安全・安心の北区をつくりあげます。原発事故の影響は北区にも及んでおり、安心して子育てのできる放射線対策を進めていきます。

幹事長 大畑 修

## みんなの党議員団

新年のお祝いを謹んで申し上げます。区民の皆様は幸多い年になりますよう強い思いを抱き、絆の再構築を重視し心に響く活動に全力で尽力致します。

みんなの党議員団3名は、区民目線と大局に立ち、庶民の暮らしに多大な影響を与える未曾有の事態を回避するため区議会および行政の徹底した改革に取り組んでまいります。年頭には、震災後初めての予算編成を控えています。固定観念にとらわれることなく、より安全で安心できる新しい区政の幕開けに向けて全力で取り組んでまいります。

幹事長 新部 ゆうすけ

## 新社会党議員団

新年明けましておめでとうございます。いま、日本社会は失業や貧困、格差拡大が問題となっています。しかし、政治はこの問題に真正面から取り組む姿勢が見えませんが、このような情勢の中、私共は区民の皆様と共に「学び・考え・行動」する姿勢で頑張ります。具体的には

- ①若者等失業者の直接雇用の推進。
  - ②低所得層への国保料・介護保険料負担の軽減。
  - ③非正規職員や介護職員などの権利の確立、等々です。
- 誰もが文化的な生活が送れる北区を目指し頑張ります。今年も宜しくお願いします。

福田 光一

# 北区議会の構成

## 常任委員会

◎委員長 ○副委員長

(会派名の略称)  
 自=自由民主党議員団  
 公=公明党議員団  
 共=日本共産党北区議員団  
 民=民主あすか区民クラブ  
 み=みんなの党議員団  
 社=新社会党議員団



# 謹賀新年



本年もよろしくお願ひします。

企画総務委員会(定数)		区民生活委員会(定数)		健康福祉委員会(定数)		文教委員会(定数)		建設委員会(定数)	
◎上川 晃 赤羽台4-17-18-808 3907-0505(公)	○椿くんにじ 上十条2-20-6 6903-8122(自)	◎八巻直人 滝野川2-34-4-201 3917-9827(共)	○やまだ加奈子 西ヶ原3-57-9 5394-1418(自)	◎青木博子 志茂4-25-3 3901-7645(公)	○野々山研 岩淵町22-31-401 090-2156-3510(共)	◎戸枝大幸 田端4-21-14 3824-1717(自)	○近藤光則 赤羽南2-11-18-B1 6454-3980(公)	◎山中邦彦 赤羽2-49-11 3901-9376(民)	○本田正則 田端3-4-12-305 3824-3956(共)
稲垣 浩 浮間2-10-7 5392-1242(公)	大畑 修 中十条3-8-9 3908-8669(民)	小田切和信 中十条3-20-19 3906-5673(公)	小野田紀美 田端新町3-35-4-401 050-7561-5521(自)	赤江 なつ 豊島4-16-34-811 3911-5573(民)	大沢たかし 赤羽西1-5-1-907 3909-1014(自)	池田博一 赤羽北1-3-1 3907-0669(自)	石川小枝 赤羽西1-41-5 3900-0577(み)	いぬい宗和 王子3-13-2-1001 6903-0256(み)	宇都宮章 神谷3-10-8-401 3901-7036(共)
竹田 博 豊島1-32-2-201 3912-4860(自)	永井朋子 浮間3-1-54-302 080-4429-6338(共)	土屋さとし 田端3-3-14 3827-7605(公)	花見 隆 志茂3-21-9 3598-1040(民)	小池たくみ 浮間3-1-4-504 5392-4892(自)	さがらとしこ 赤羽北3-23-17 3905-0970(共)	名取ひであき 栄町18-5 3919-1271(自)	古田しのぶ 東十条3-3-1-1106 3927-7562(公)	榎本はじめ 滝野川2-6-11-101 3940-9373(自)	大島 実 堀船2-31-2-903 3914-9342(公)
新部ゆうすけ 浮間2-12-24-405 6454-5419(み)	八百川孝 東十条5-1-9-101 090-6798-2153(共)	福島宏紀 豊島5-4-1-618 090-1206-6925(共)	福田光一 王子3-9-12 3927-4025(社)	佐藤ありつね 滝野川11-68-7-1101 3940-8177(民)	永沼かつゆき 志茂2-48-4 3901-7571(自)	安田勝彦 神谷3-30-10 3902-1812(民)	山崎たい子 豊島7-19-10 090-2160-1292(共)	坂口勝也 豊島5-5-5-1424 3912-0441(公)	前田ゆきお 滝野川5-19-1 3916-7995(自)
山崎 満 赤羽西4-19-8 3909-3846(自)	渡辺かつひろ 中十条1-21-2 3906-3601(自)	宮島 修 滝野川4-30-5 3907-0399(公)	山崎 満 山崎 満 山崎 満	山崎 満 山崎 満 山崎 満	山崎 満 山崎 満 山崎 満	山崎 満 山崎 満 山崎 満	山崎 満 山崎 満 山崎 満	山崎 満 山崎 満 山崎 満	山崎 満 山崎 満 山崎 満

## 議会運営委員会(定数)

◎池田博一 ○宮島 修  
 稲垣 浩 ○大畑 修  
 上川 晃 ○大畑 修  
 椿くんにじ ○大畑 修  
 野々山研 ○大畑 修  
 山崎たい子 ○大畑 修  
 山中邦彦 ○大畑 修

## 特別委員会

### 地域開発特別委員会(定数)

◎八百川孝 ○渡辺かつひろ  
 大畑 修 小田切和信  
 上川 晃 小野田紀美  
 野々山研 近藤光則  
 やまだ加奈子 本田正則  
 いぬい宗和  
 小野田紀美  
 永沼かつゆき  
 山崎 満

### 防災対策特別委員会(定数)

◎榎本はじめ ○さがらとしこ  
 赤江 なつ 池田博一  
 大島 実 坂口勝也  
 椿くんにじ 永井朋子  
 花見 隆 前田ゆきお  
 山中邦彦 山崎たい子

### 交通環境対策特別委員会(定数)

◎佐藤ありつね ○稲垣 浩  
 宇都宮章 小池たくみ  
 戸枝大幸 名取ひであき  
 福田光一 古田しのぶ  
 安田勝彦 八巻直人

区議会だより編集委員会  
 〒114-8508  
 北区王子本町1-15-22  
 TEL: 03-3908-9949  
 FAX: 03-3908-0600  
<http://www.city.kita-tokyo.jp/>  
 「北区議会」のホームページ  
 区議会の活動は北区のホームページ  
 でお知らせいたします。

○議会放映を北ケーブル  
 テレビでぜひご覧ください  
 第1回定例会本会議の代  
 表質問の様子を11北チャ  
 ンネルで録画放映します。  
 放映予定日時  
 3月4日(日)  
 午前10時  
 午後4時  
 3月5日(月) 8日(木)  
 午後10時15分  
 1時間程度(再放送)

3月		2月	
26日(月)	本会議	22日(水)	本会議
22日(木)	議会運営委員会	23日(木)	本会議
14日(水)	予算特別委員会⑦	27日(月)	文教委員会
13日(火)	予算特別委員会⑥	28日(火)	健康福祉委員会
12日(火)	予算特別委員会⑤	29日(水)	建設委員会
9日(金)	予算特別委員会④	29日(水)	企画総務委員会
8日(木)	予算特別委員会③	5日(月)	予算特別委員会①
6日(火)	予算特別委員会②	6日(火)	予算特別委員会②

平成24年第1回定例会は、  
 2月22日から3月26日まで  
 の34日間の会期の予定で開  
 かれます。いずれの会議も  
 午前10時開会予定です。  
 2月23日(木)本会議は  
 都合により開会されない場  
 合があります。傍聴を希望  
 される方は区議会事務局ま  
 でお問い合わせください。

次回定例会の  
 お知らせ